

【面接官の印象】

1. 外国人面接官(以下 NS)について

白人・30代前半・男性・やせ型・長身長・感じのいい方。

瞳は、黒や茶色ではない。

(時間が経っているので断言は出来ないが) 青やグレーのような薄い色だったと思う。

話された英語から、おそらく人生の多くの時間をアメリカ西岸で過ごした人と判断。

ただし、カルフォルニア調を前面に押し出すのではなく、実にプレーンな英語を話されていた。

(BBC、ロンドン市内、テキサス、ニューヨーク、豪州で聞かれる英語ではない。)

2. 通訳ガイド(以下 TG)について

日本人・30代前半・女性・比較的やせ型・身長160cm前後・感じのいい方。

【面接試験の実際】

1. 通訳試験について

TG	「秋葉原には、600店もの電気店がある。メイド喫茶では、アニメコスプレをしたウエイトレスが出迎える。」
I	<p>(ほかに、情報は、数点はあった気がする。また、上記、日本語文は正確ではない。ほとんど下戸の私が、当日夜に、気分転換にお酒を飲んで帰宅したら、忘れてしまった。面接の際には、日本語文に含まれていた構成要素それ自体は、漏らさず訳せたと記憶している。)</p> <p>メイド服ではなく、アニメコスプレと言っていたのが、奇異に思った。にもかかわらず、その日本語のまま「アニメコスプレ」と訳してしまった。ここでは、「メイド・コスチューム」と言い換えた方が適当であった。</p> <p>※実務的な通訳なら、たとえ与えられた情報が間違っていようとも、自分の裁量で修正してはいけないのだろう。 でも、ガイド通訳の場合、与えられた情報が、実情と大きくかけ離れていたならば、修正した上で、お客様にお伝えすることが正解だと思う。</p> <p>メイド喫茶は一度も訪れた事はないが、ニュースに接する限り、戦国時代の女性のコスチュームをしたところがあったりして、細分化が進んでいるようだ。だから、アニメ服に身を包んだウエイトレスがいると言って、あながち間違いではないのかもしれない。でも、コスプレは、「プレイ」であって、「コスチューム」ではないので、「アニメコスプレ」と訳してしまったら、失点は免れえないと判断。</p> <p>2次対策のセミナーで、自分は立ち上がりが悪い(遅い)と感じていたのも、面接試験の直前では、気持ちを上げることを心がけていた。</p> <p>印象としては、与えられた日本語の情報量が少なく、その分、メモ書きに必死になる必要がなく、比較的ラクに訳せたように感じた。</p> <p>自己採点は、60点台半ばと推定。(ひっかけ問題で、派手に転んでしまったので。)</p>

2. 2分間プレゼンテーションについて

TG	三択は、以下の通り。
----	------------

- ・温泉に入るときに、気をつけなければならない事について。
- ・日本の宗教について。
- ・(日本の)草花について。(この選択肢は、もっと長い文章だった。その分、話題を、もう少し限定していると思われる。)

I

温泉のテーマを選んだ。

日本の宗教について、選ばなかった理由は、宗教についての知識にムラがあるため。学校教育で一切習わなかった神道については、まったく解らなかったので、図書館で、実に様々な本を借りて読み、有名どころの幾つかを訪れて、理解を深めた一方で、「鎌倉仏教の各派について、違いを説明せよ。」と切り込まれてしまうと、知識が失念していて答えられないので、リスクな選択肢だった。

草花について、選ばなかった理由は、「花全般」についてではなく、「草花」という限定された世界の話だったから。

それを、よしんば2分間繰り広げるまではいいにしろ、その後のQ&Aに耐えうる知識や経験を持っていないため。

家に帰って、「草花」の英訳を調べたところ、単に「フラワー」とあったが、国語辞典を調べると、「草に咲く花」「花の咲く種類の草」とあった。

前者なら、花好きの私には、十分に選び得た選択肢であったことが判明、しかし、後者なら、わずかばかりの知識しかなく、葉・根・茎・花びら等の基本用語こそ知ってはいるものの、問答の方向性いかんによってはイカン結果になった事が、事後にも明らかになった。

そして、温泉は、願ったり叶ったりの得意分野だったので、迷わず選択した。

テーマ:「温泉に入るときに、気をつけなければならない事」

Wash your body, before you soak into the hot spring, for sanitary reason.

そう言った直後、「かけ湯」の事を思い出したので、「体を洗った後でも、湯船の前で、体にお湯をかける事が大切だ。他の入浴客に対して、自分はキレイな状態になった上で入るんだよ、というジェスチャーになるから。」という苦しみ紛れの解説を付け加えた。

「体を洗った後で入浴することが望まれるが、日本人の中にも「かけ湯」だけして入る入浴客がいる」と言った方が現実的に即していて・実際的にもかもしれない。もちろん、ガイドとしては、体を洗った後に入浴することを、常識だと伝えたいが。

You shouldn't soak your small or large towel into the bath water.

Japan's hot spring has ten kinds of mineral quality. And there are matches between the mineral and human skin. If there was a miss match, you will have an allergy by reacting the spa water.

日本語で残したメモ書きを見ながら、当日を思い起こし書いているが、上記のような文章だったか、心もとない。また、文法上の過ちを、おそらく何ヶ所かでやらかしてしまっていると思われる。

	<p>泉質と肌の相性は、match を使うよりも、compatibility や chemistry を使ったほうが、より適切だったと思われる。</p> <p>※2分間のプレゼンテーションでは、1分を経過する際に、TG が人差し指を立て、合図を出す事が行われた。 (おそらく、全試験会場・共通のサービスだと思われる。)</p> <p>※2分間の時間が来たら、私の NS は、話を最後まで言い終わらせる前に、打ち切った。 (こちらは、面接官個人の裁量なのか・共通ルールなのか不明。統計を集めれば明らかになるのでしょうか。)</p> <p>自己採点は、60点台後半か。 (細かい文法ミスや、適切な単語を用い得なかった点、そして、入浴前のエチケット説明が重複していて、かつ、整って伝えられていない理由で。)</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 質疑応答について

NS	Does Japan have many hot springs ?
I	<p>Yes, numerous. The number of the source of the hot spring is the number one of the world, and the second is Iran.</p> <p>All through the archipelago of Japan, we have hot springs at anywhere, in the seacoasts, flat land, and mountains.</p>
NS	Is the allergy terrible?
I	<p>It happens almost none. Very exceptional case.</p> <p>In my personal experiences, I found my skin reacts to the iron quality hot spring water.</p> <p>Practically, no react to the transparent orange color—weak iron quality bath water, but, when I soaked into the translucent red or chai color—strong iron quality water, my skin became red as an allergy reaction.</p> <p>Although, soaking into the iron quality hot spring is very important especially to the woman.</p> <p>The woman has moon cycle, and in the process, they lose iron element from their bodies, regularly.</p> <p>Soaking into the iron bath water, they can supply the element.</p>
NS	Is the hot spring expensive?
I	<p>If you use it in the day trip, it's not expensive.</p> <p>The highest one costs about 2,000 yen, the standard type costs less than 1,000 yen, the cheapest one locates in the countryside, managed by the local village people, will ask you a donation.</p> <p>There is a small box at the hot spring, and a handwriting onto the box suggests 200 yen for the visitors who have no idea of the price.</p>

温泉の値段には、宿泊込みのと、立ち寄り湯があり、前者は得てして2食分の費用をも含むので高くなりがち。
未知の体験かも知れない温泉入浴に際しては、外国人観光客のために、敷居を低くすることが必要。
だからこそ、立ち寄り湯限定で話を運んだ。

Q&A で、他に、もう少し、訊かれたのかもしれないが、時間が経ち忘れてしまった。
上記の会話は、酔って帰宅したあと、日本語で取ったメモ書きから思い起こして書いたもの。

温泉に関しての Q&A は、基本的に何を訊かれても答えられる自信があったので、実に快活かつスムーズに応答が進み、
拍子抜けするくらい、あっけなく Q&A は終わってしまった。

反省点：濃度の高い鉄分泉の色は、赤やチャイ色と言ったが、間違えてないにしろ、Chai color—Indian milk tea color と付け足したほうが、よりイメージしやすいと思う。

※インタビュー試験のセッティングで特筆すべきは、テーブルがない状態で、受験生がイスに着座すること。
緊張が、脚に現れる受験生の場合、現場で、にわかには抑えられない。
来年度以降の富士の2次対策コースでは、＜受講生はテーブル無しで、全身を試験官の視野に収められながら、インタビューに臨む＞ことが実際的だと思う。

自己採点は、80点くらい。(文法ミスや適切な単語を用いなかった理由で、減点があると思う。)

【試験を終えて】

大小の待合室は乾燥していて、喉が渴いた。ドリンクを持ち込んで正解だった。

インタビュー試験では、(言い詰まった時以外は)、大きな声で・ハキハキと・快活に・笑顔で・ジェスチャーを交えて、受け答えが出来ていたように思う。

一方では、普段わりと出来ていたアイコンタクトが、本試験では少なかったように思う。(おそらく、睡眠不足が原因か。)

ただし、どちらかという、自分はプレーンに近い表情ながらも、相手の顔を主に視野に入れて、話していた。

1次試験でも、そうだが、振り返りをすると、自分の粗が幾つも見えてくる。

筆記試験なら、時間内いっぱいまで、見直し・修正が効くが、2次試験は、言ったそばから消えていく口頭の試験。楽器演奏と同じで、普段から意識し・コントロールされた(口頭)練習が大切だなと実感。

インタビュー試験の総合得点の自己予想は、おそらく70点弱。